

『土器のはじまり』

～ 日本列島の土器出現期の様相～



講師：小林 謙一 先生

(中央大学 教授)

お問い合わせは、ハテナ館まで

旧石器時代学習館(旧石器ハテナ館)

： 042-777-6371

相模原市中央区田名塩田3-23-11

当麻遺跡
第3地点

当麻遺跡
第2地点

天満宮

瀬川橋

当麻遺跡
地点

58.4



「田名向原遺跡の住居施設は、散発的存在で平地型の簡便な形態であった。縄紋草創期に入り、住居の竪穴化が次第に一般化した。竪穴住居の定型化は、土器の大量保有化と対に進展をし、環境変動との関連も考えられる。定住化は土器・弓矢の普及、土偶、石偶祭祀の開始と縄紋文化の重要な要素でもある。」この様な縄紋土器出現期と定住化の進展関係を基軸に、中央大学・小林謙一先生にご講演して頂きます。

令和6年

7/20(土)

午後2時～午後4時

(場所：旧石器ハテナ館)

参加費 無料

定員：50名

申込：7月5日(金)より開始

直接来館又は、電話で同館へ

(受付時間：午前9時～午後5時)

アクセス

【公共交通機関】 神奈川中央交通バス(当02系統)

JR相模線 原当麻駅から「田名バスターミナル行」 または

田名バスターミナルから「原当麻駅経由北里大学病院・北里大学行」

バス停「田名向原遺跡」下車すぐ

駐車場には限りがありますの公共交通機関でのご来場をお願いします。



主催：相模原市教育委員会